

町民活動団体紹介 19

より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

団体名 野木町更生保護女性会

◆活動内容

保護司と共に犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える「社会を明るくする運動」を行っています。また、女性会として、小学1年生とチューリップの球根植え付けや小山警察署、野木交番、佐川野駐在所にチューリップの球根を届け、春には笑顔の花がいっぱいになります。

中学2年生には立志式に愛の鈴と絵手紙で祝福しました。

他には県の研修会参加や、新型コロナウイルス対策としてマスクを作り、公共施設等に配布しました。

◆活動日 不定期（月10回程度）

◆活動場所 町内及び県内各地

◆会員数 30名

◆ひとこと

これからも更生保護の心を広め、楽しく、仲良く、元気良く、活動の輪を大きくしたいです。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

・当団体のことにつきましては…問伏木 ミサ子 ☎(55)0093

みなさんも楽しく、元気に町民活動、ボランティア活動に取り組んでみませんか。
ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

・町民活動等につきましては……問ボランティア支援センターきらり館 ☎(23)1231

広報連絡委員レポート №414

素晴らしい野木町に住んで



広報連絡委員
渡邊 孝善

野木町に移り住んで約45年になりますが、この間町の姿は大きく変貌しました。住んだ当初は、現在のローズタウンは造成されておらず、そのエリアは夏にはカエルの声が煩いほど聞こえてくる広大な湿地帯が殆どを占めていました。当時、家から駅までは徒歩でしたが、道路は一部舗装されていなかったことから雨の日は靴が泥だらけになり、通勤時に苦労したことが懐かしい思い出です。

数年後、現在の地に移りましたが、駅東の信用金庫の南側は今では考えられない一面の鬱蒼とした林で、男でも帰宅時は少し不安を感じるようなこともありました。今では町の街灯整備やドラッグストア、ガソリンスタンド、コンビニ等の明かりで夜でも安心な明るい通りになりました。

平成8年に松原大橋が完成しました。それ以来、私の運動コースの一つになりましたが、冬の澄んだ空気の中で橋の上から眺める風景が特に好きです。北には男体山の雄姿と日光連山、那須連山、東

に目を移すと筑波山、さらに南に目を転じると富士山と、朝日に輝く山々、春の緑豊かな大地、秋の夕日で黄金色に輝く豊穡な大地等、四季を通して素晴らしい景色です。また、ヨーロッパ出張時の空から見る野木町周辺の景色も楽しかったです。往路は、席を必ず左の窓側にしたものです。離陸して間もなく眼下に「ハート形の池」が見えてきます。ああ、野木町に住んでよかったなと思う瞬間です。

国鉄（現JR）東北本線（宇都宮線）の開通は明治18年、開通時、野木駅はありませんでした。栗橋の鉄橋を渡り古河の次は小山、石橋、宇都宮駅の順でした。当時の野木村民は駅の無い不便さを痛感したでしょうね。

国鉄設置は野木村の発展のためには不可欠との観点から、村長以下「野木駅」設置に向け大変尽力をされ、昭和36年7月に駅設置が認められたそうです。昭和38年1月1日、野木村は、町制を施行し「野木町」として新しい歩みを始め、同年2月16日には「野木駅」が開設されたそうです。

私は、野木町の町制施行から13年目に野木町に移り住みましたが、もし野木駅が無かったらこの町には住んでいなかったらと思うと感慨深いものがあります。